

「地域の皆様の笑顔と共に」

小原整骨院

OUTSIDE REPORT

Vol.02

2020.07



30th anniversary
Special issue



良い治療を施すには、患者さんの生活全てひっくり返るための視点が必要になる。だからこそ、思いやりの心を大切にしたい。

mini

interview

小原陸夫

鍼灸師・マッサージ師・腱引き師・介護支援専門員・社会福祉士

rikuo kohara

開院以来30年、地域の皆様とともに歩み、年を重ねてきた小原整骨院。同じように年をとってきた私たちだからこそ、皆様に共感できることがあります。人生の中で“老い”というのは、終盤を意味するのかもしれませんが。しかし、老いてなお、生活を楽しみ、穏やかに、そして明るく過ごせるようサポートしたい…そんな想いを持って日々施術にあたる小原陸夫先生に語っていただきました。

両親や周りの勧めで行岡鍼灸専門学校に進学し、鍼灸師とあん摩マッサージ指圧師の資格をとり小原整骨院に就職したのが…32年前、もうかなり昔です。

鍼灸マッサージ師として日々患者さんに向き合っていたのですが、介護や福祉の仕事にも興味を持っていた私は、2000年に介護保険制度が始まったことがキッカケで、十数年勤めていた小原整骨院を離れ、介護業界に転職しました。

介護施設では居宅のケアマネージャーとして、おじいちゃん、おばあちゃんのお世話をすることで数多くの実務経験を積みました。またケアマネで勤務しながら、大学の通信教育を活用して社会福祉士の資格を取得。その後、成年後見人として認知症者、知的障がい者、精神障がい者の方々をサポートさせていただくようになりました。10年以上、介護分野で過ごしていましたが、後見人の仕事に集中しようと思いケアマネを辞め、さて…という時に小原整骨院院長より、「スタッフを募集しているから」との連絡があり、15年ぶりにここへ帰ってきました。

ケアマネの経験と後見人の仕事 が治療家としての仕事に活かしている

成年後見人になれる人には制限があり、親族、市民後見人（専門的な講習を受けた市民）、専門職後見人（国家資格を持



Kohara Osteopathic Clinic

つ士業)の3つに分類できます。主な専門職後見人には、弁護士、司法書士、社会福祉士、行政書士などがあり、社会福祉士は医療・福祉・介護の専門家として、依頼が増えています。社会福祉士への後見人の依頼は、医療・介護・福祉関係者や市役所、家庭裁判所などから岡山県社会福祉士会に打診されます。しかし社会福祉士には病院や介護施設、障害者施設などへの勤務者が多く、他の士業のように事務所で開業している会員は極めて少ない状況です。そのため、後見依頼に対応できる社会福祉士は限られています。

後見人の仕事は、認知症者、知的障がい者、精神障がい者で判断能力の不十分な方の財産保護や身上監護です。親族がいらっしゃる場合と、そうでない場合など様々なケースがあります。身寄りのない場合は、収骨・永代供養まで行うこともあり、状況に応じた臨機応変な対応が求められます。もちろん家庭裁判所の許可なしで勝手にすることはできませんが。

この仕事をしていていつも思うのが、認知症になってしまったおじいちゃんやおばあちゃんも、今までの人生、いろんな出来事があったんだろうなという思いです。

今、自分はまだ元気で、バリバリと働いていますが、このおじいちゃんやおばあちゃんの姿は未来の私たちなのかなと…自分の将来に重ねてしまうことがあります。そう思うと、幾つになってもおじいちゃん、おばあちゃんには、元気に過ごしてほしいと思います。そのためにしっかりとサポートをしていきたいと考えています。その一つとして、介護の相談を行なっています。

ご両親を自宅介護をされている方は、身体の負担はもちろんのこと、精神的な負担、ストレスも相当かかります。実はこのストレスが身体へも負担をかけていることがあります。そういうケースは、単に身体を治療してもなかなか症状が改善しません。かといって介護をやめることはできませんから、何とか介護の負担を軽く出来ればと、介護認定の申請についてのアドバイスなど、過去の経験を活かして相談を行なっています。治療という身体への直接的なアプローチだけではなく、精神的な負担の軽減もお手伝いできれば…そういう思いで治療に当たっています。

患者さんと治療家との間に信頼関係を作ることが、治療効果を上げる

ことにつながる。

小原整骨院で働いていると、様々な症状の方が来院されます。足腰が弱くなってしまったご高齢の方、ご両親の介護をされていて腰を痛めてしまった方、スポーツで肘や膝を痛めた高校生、捻挫の患者さんやギックリ腰の患者さん、五十肩や事故で首や背中を痛めた患者さんなど。それぞれの患者さんの症状に応じて、適切な治療を施していくのが私たちプロの施術家です。小原整骨院では、柔道整復師、鍼灸師、助産師、あん摩マッサージ師、腱引き師と多角的なアプローチで様々な症状に対応しています。

患者さんを施術する上で、私が気をつけているのは、早く患者さんの痛みをとって楽にしてあげることです。施術家としては当たり前のことですが、なかなか症状が改善しないこともあります。

その一つは、痛みが出るようになった原因を断つことができるかどうかです。単に対症療法として痛みをとっても、痛みが出るようになった原因が解消していない限り同じ痛みを繰り返してしまいます。早く痛みを取ってあげようと、精一杯の治療を施すことはとても大切です。しかし、根本的な治療、繰り返してしまう原因を解消できるようにアドバイスをしなければ本当の治療にはならないのではないかと…。



私たちが行う施術は、患者さんの協力によりその効果が変わります。例えば、日常的な体の使い方の中に痛みの原因がある場合は、患者さんが、その原因となる体の使い方を止めることができるのであれば、症状は改善されます。しかし職業柄、やらざるを得ない状況が痛みの原因である場合や、選手としてどうしても負担がかかる体の使い方をせざるを得ない場合などは、対症療法的な治療になってしまいます。そういう場合でも、患者さんとお話しさせて頂き、改善できる

ことを一緒に考えていくようにしています。

治療家は、患者さんの伴走者として、常に謙虚であり、技術の研鑽をし続けなければなりません。その上で、患者さんへの思いやりの心が無いと信頼関係は作れません。そう言い聞かせ、気を引き締めて治療に当たっています。

腱引きに触れて再認識した当たり前の事、身体の使い方の悪い癖は日常が作っているということ。

小原整骨院は以前から、全国の有名な治療家を招いて、様々な治療法を学ぶ機会を作っていました。鍼灸師の石原克己先生、南利雄先生、松本岐子先生など、日本屈指の先生方から直接学ぶことで、小原整骨院は鍼灸の技術を飛躍的に向上させてきました。

その流れの中で、腱引き師の小口先生の講座に参加した際、ギックリ腰、足首捻挫を劇的に改善している小口先生を目の当たりにしました。初めて見るその手技に驚いたのがキッカケで、腱引きを学ぶことになりました。

腱引き師の資格は、月一回開催される地方伝承会(腱引き養成講座)で取得できますが、それでは2年半掛かるため、私は、静岡県富士市にある筋整流法協会本部で、一ヶ月半の集中合宿に参加し取得しました。一ヶ月半という短期間で学科試験・実技試験をクリアしなければならない集中合宿は、結構ハードな合宿でした。幸い、解剖学など医学的な知識があったのでその分は助かりましたが…。一ヶ月半、腱引き療法にどっぷりと浸る生活は、学生時代を思い出した新鮮な感じでした。

あまり馴染みのない腱引きですが、実は由緒正しき技で、その源流は古武術にあります。

「筋整流法『腱引き療法』とは、古来より伝承された腱引きの技を理論的に解明し、筋肉、腱(筋)を調整することにより、快適な体調とする施術(技)です。(筋整流法HPより抜粋)」

古武術を源流としている特徴的な施術なので、柔道整復師が行う手技とは違うアプローチで治療を施していきます。

腱引きは、ばね指や手首や肩関節の痛みに関しては非常に効果が出やすい治療法です。特に、足首の捻挫には効果があり、通常3回くらいの施術で改善させます。人間の関節とい

うのは、関節の周りの筋肉全部が連携を取れていないとうまく動きません。そのどこか一箇所が悪いと痛みとして症状が出ます。筋肉の連携を調整することこそが、腱引きのもっとも得意とする部分です。

例えば、足首捻挫はいろんな筋が重なって動きが制限され痛むことが多いのですが、その制限された筋の動きが良くなれば、歩く時に痛みを感じなくなります。たとえ腫れがあっても、歩けるようになります。他にも、神経痛も出ている時に指を突っ込んで当たっている神経のルートを外す技など、腱引きは、痛みが改善される技を数多く持っています。筋肉や腱の調整が腱引きの本質だからです。



当院で開催している腱引き伝承会(養成講座)には、近県各地から『腱引き伝承者である小口先生から直に腱引きの技を習いたい!』という方が受講に来られています。

腱引きで痛みを取っても、体の使い方の癖というのはなかなか取れません。慢性的な痛みを抱えている患者さんの場合、長い時間をかけて痛みの原因を作ってきたこととなります。その場合、一時的に筋肉や筋を正常な位置に戻すことができても、また元の悪い位置に動いてしまい痛みが再発してしまいます。慢性的な痛みにはある程度の時間をかけ、体の使い方の悪い癖を直し、筋肉や筋が正常な位置で動くように良い癖をつけさせなくてはなりません。そこで、腱引きでは自己治癒を促すように簡単な体操を教えています。

簡単な運動療法なのですが…例えば、爪先立ちです。爪先立ちで体重を乗せると、重心が内側に来てバランスが取りやすくなります。肘が痛い場合も、指の曲げ伸ばしをすることで、筋肉のバランスを取ることができます。

こうして自宅でする、曲げ伸ばし、爪先立ち、足踏み、腕の上げ下ろしなどの簡単な運動だけでも、偏った癖を改善でき、筋肉のバランスが取れるようになり、再発防止に繋がります。こうした運動指導をして患者さん本人ができるようになっていただくことも、腱引きの考え方の一つです。



地域みなさんにもっと貢献できるように。小原整骨院だからこそできる地域医療を模索していきたい。



将来的にはというか近いところでは、腱引きの師匠である小口先生の技術にどこまで近づくことができるか…小口先生は手で触っただけで、ほぼ症状の把握ができるのですが、普通のレベルではわかりません。そのレベルまで自分の技術を高めたいと思っています。

そして将来の夢は、小原整骨院としてできる地域医療にはどんなものがあるかを模索し、小原整骨院らしい地域医療を実現させることです

今後、在宅介護が増える中、ご家族の負担は大きくなるばかりです。そういう部分でもお役に立てるようになりたいと…地域の皆様に育てられた治療院だからこそ、地域の皆様のお役に立ちたい、そう願っています。

お知らせ

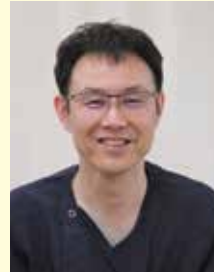
当院は、筋整流法倉敷道場として、創始者 小口昭宣先生の腱引き施術会を毎月開催しています。



足首・膝・股関節症などでお悩みの方は、体験してください。また、腱引き師の資格取得を目指す伝承会も同時に開催しています。腱引き師として活躍したいと思われる方、新たに独立開業をお考えの方も、お気軽にご連絡ください。

月により、開催日や内容等が異なりますので、詳しい情報は当院のLINEや院内掲示物でご確認いただくか、当院スタッフにお声がけください。事前予約制となりますので、あらかじめご了承ください。

profile



小原 陸夫

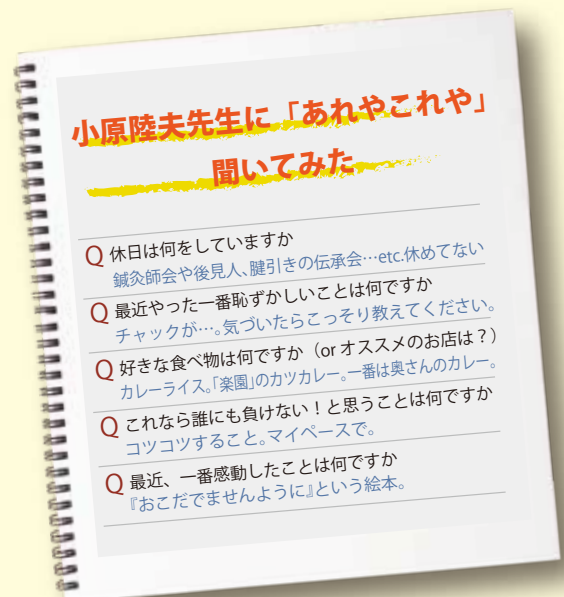
(こはらりくお)
[B型・牡羊座]

担当

手技療法・腱引き・介護福祉相談

資格

鍼灸師・マッサージ師・腱引き師(三段)・
介護支援専門員・社会福祉士



☎ 086-444-9595

小原陸夫先生へのご相談や、当院へのお問合せなど
お気軽にお電話ください。

 小原整骨院